

平成 25 年度 すこやか親子世代の取り組み



【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議*（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1. 子育てしやすいまちづくりについて

（1）地域事務局会議**の実績

地域の現状や特性に合わせた、活動展開についての検討をすすめています。今年度は、プランスタートの年度でもあり、地域事務局会議にすこやか親子部会の委員が参加して今後の地域会議の運営方法や地域活動について話し合いを実施しました。（委員の参加した回数は下記表の☆印）

地 域	開催回数	内 容
米 本	2 回	地域で子育て中の人に声をかけたり、手助けをしてくれるような関係がうまれるきっかけとして、子育て中の人と地域の人とのつながりづくりを検討した。
村 上	2 回	子育て支援について、地域の様々な関係機関からの見守りの目があること、外国籍の人の現状、事業等へ出てこられない人への働きかけについての意見交換や役割の検討。
高 津	4 回	若い子育て世代と子育て経験者が交流する機会を作るため、自治会や各団体がどのような世代間交流を行っているか意見交換をしたり、どうすれば交流がすすむかを検討。
緑が丘	4 回	子育て世代が地域とのつながりを持つにはどうすればよいか考えた。母子保健推進員や社会福祉協議会の人にも意見を伺った。
ゆりのき台	7 回 (☆2 回)	どんな地域が住みやすいか目的関連図を作成しながら意見交換を行った。転入者が多い地域のため、転入者も住みやすい地域づくりについて考えた。
睦	2 回	睦地区の母子保健推進員勉強会と併せて地域のつながりについて話し合い、防災の取り組みから考えられないか検討した。
勝田台	12 回 (☆7 回)	母子保健推進員の勉強会を中心に、子育て世代の「いざという時の防災対策」を検討し、地域情報交換会とおしゃべり広場においてグループワークを実施した。また、やちよ元気体操応援隊の自主グループの協力のもと、「子育てママのリフレッシュ」をすてっぷ 21 勝田台にて平成 25 年 11 月から開始した。
大和田	5 回 (☆1 回)	世代間交流の機会を作るにはどうすればよいか意見交換を行った。
八千代台	4 回 (☆1 回)	八千代台地区の子育て世代の現状や子育て支援の状況について再確認を行い、地区特性（元気な高齢者が多い）と地域のつながりについて考えた。

* 地域会議とは、「子育てしやすいまちづくり」の実現にむけ、関係機関や住民組織が集まり、情報交換や課題を検討し実践する会議です。現在9つの地域会議（地域情報交換会）が持たれています。

** 地域事務局会議とは、地域会議の企画運営をする会議で、地域子育て支援センターの職員と母子保健課の地区担当保健師が担っています。

(2) 地域会議（地域情報交換会）の実績

地 域	開催日	内 容
米 本	11/15	地区の現状、子育て支援事業の報告・意見交換 第2次健康まちづくりプラン策定の報告
村 上	11/18	意見交換 テーマ：村上地区の親子を見て関わって感じたこと、そして、こんなふうになって欲しい
高 津	11/19	「子育て世代と子育て経験者との交流する機会をつくる」ために現状について意見交換
緑が丘	11/21	地区の現状について意見交換 第2次健康まちづくりプラン策定の報告
ゆりのき台	1/24	「地域ぐるみの子育て」をテーマにグループワーク
睦	1/28	地区の現状、子育て支援事業の報告・意見交換 第2次健康まちづくりプラン策定の報告
勝田台	1/29	第2次健康まちづくりプランの策定の報告 子育て世代の「いざという時の防災対策」について地区防災対策の情報提供とグループワーク
大和田	2/5	地区の現状、子育て支援事業の報告・意見交換 策定の報告
八千代台	2/6	地区の子育て世代の現状や子育て支援についての意見交換 第2次健康まちづくりプラン策定の報告

ゆりのき台地区の情報交換会の様子



2. 親の子どもへの接し方のスキルアップのための新事業の検討について

地域子育て支援センターと母子保健課で「子育て学習講座プロジェクトチーム」を立ち上げ、子どもに対する接し方の具体的な方法を伝える事業についての検討を行いました。

平成25年度の会議開催は9回。平成26年度試行予定。

併せて、職員へ周知するためにCSP（アメリカの虐待防止プログラム コモンセンスペアレンティング）という手法について職員向け研修を実施しました。

【その他の主な取り組み】

1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かな心を育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、母子保健・子育て支援事業を中心に進められている事業の2本柱で推進しています。

(1) やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

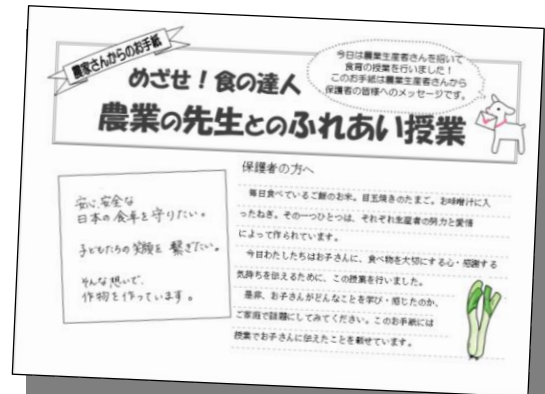
「やちよ食育ネットワーク協議会」が中心となって推進している事業としては、市内小学校全校で農業生産者を小学校に招き、学級担任・栄養教諭等と連携して食育授業を実施する、食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。市内小学校 22 校中、平成 25 年度学校独自で農業生産者と関わりのある授業を実施できている学校 6 校を除く 16 校を対象に授業コーディネートをを行いました。また、実施後のアンケート等をまとめ、やちよ食育ネットワーク協議会及び分科会にて実施方法等の再検討を行い、次年度の事業実施に向けて準備を行っています。



▲小学校での授業の様子。実際に収穫したねぎを見せながら話をする農業生産者

【保護者向け資料「農家さんからのお手紙」】

家庭での食育に繋げることを目的として、授業後に「農家さんからのお手紙」を保護者に配布しました。



(2) 母子保健・子育て支援事業を中心とした食育

妊娠期からの継続した食育事業を展開しています。 (平成 26 年 3 月末現在)

- ◇プレママ教室・・・妊婦に対しての食育（参加者149名）
- ◇乳児期の食育・・・4か月・10か月児赤ちゃん広場事業での食育（参加者2,503名とその保護者）
- ◇幼児期の食育・・・もうすぐ1歳半おやこ広場での食育（参加者687組）、みんなで食育事業での食育（48回実施 参加者親子781名）、子育て応援ポケット事業での食育（リーフレット配布枚数5,925枚）
- ◇公民館事業等を通じての食育・・・・・・・・・・・・・・7回実施 参加者 165 名
- ◇自主サークルからの依頼による出前食育講座・・・・5回実施 参加者 153 名
- ◇学童保育所等からの依頼による出前食育講座・・・・1回実施 参加者 46 名
- ◇他部署からの依頼による中高生向け食育講座・・・・1回実施 参加者 7 名

2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切にし、生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは平成 18 年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師、助産師、学校関係者、保護者などのメンバーで推進しています。

(1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

今年度新たに委嘱を行ったメンバーで、計5回の会議を行い「思春期の生と性」の活動について検討しました。

(2) 思春期保健シンポジウムの開催

保護者が生と性の課題をはじめとした思春期保健の重要性を認識し、各家庭での取り組みに繋げることを目的に、平成 19 年度より思春期保健シンポジウムや研修会を開催しています。

思春期保健シンポジウム「10代の生と性」VII

テーマ：オヤジも聞こう バック・トゥー・ザ・思春期！～男子のこころとからだ～

平成26年
2月2日(日)

学ぶ機会の少ない「男子の性」について理解を深めることを目的として企画し、講師には男子の性教育の第一任者である村瀬幸浩氏をお招きしました。今回は、保護者へ向けた PR に加え、八千代商工会議所や八千代青年会議所、八千代市農業協同組合青年部などの男性の集まる団体へも後援を依頼し、参加者 109 名のうち男性 43 名（約 40%）の参加でした。



▲村瀬幸浩氏による講演
演題「男子の性に学習の光を」



▲パネルディスカッション
テーマ「男子の性と大人（父）の役割について語り合おう」

アンケート結果

- ・講演、パネルディスカッションそれぞれの設問で、「よかった・まあよかった」と回答した参加者 100%（未記入除く）
- ・「ご自身の生活で活かせることが見つかった・まあ見つかった」と回答した参加者 93.7%

(3) 「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の周知と配布と、活用の評価（作業部会）

「八千代市オリジナル生と性の教育教材」は、学校で豊かな生と性の教育がされるよう、作成しています。作成作業は、市内小中学校の教員を中心としたメンバーで行いました。今年度は教材の周知・配布と、授業実施前後で中学生に行なったアンケート結果を分析し、教材活用の効果等の検討を行ないました。

10月：市内全中学校へ教材を配布

11月：八千代市教育研究会（教員の研修）で実際にこの教材を使った授業が、子ども達に実践されています。

その授業の様子を、市内中学校保健体育科教諭が見学し、授業後に授業や教材に関する意見交換が行なわれました。



▲教材内容は中学3年生の授業単元
「性感染症の予防」「エイズの予防」

(4) 思春期保健ネットワークニュースレターの発行

保護者や教員に、思春期の子どもの現状や思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的とし、ニュースレターの発行をしています。

平成26年3月 第12報発行（内容：思春期保健シンポジウム報告）